

遠見岳～寝太郎山 ～立花古道妄想ハイク～

【報告者】T橋

【日時】2017年4月9日

【天候】晴れ

【参加者】T橋

《コースタイム》

伊野皇大神宮 0830－遠見岳－谷山越－寝太郎山－的野越－伊野皇大神宮 1200

《報告》

「よいか寝太郎、この城はすっかり敵に囲まれてしまった。頼みは山道に詳しいおぬししかおらぬ。きっと援軍を連れてくるのだぞ」「ふあい」

しかし連日続く激しい戦で疲れ果てていた寝太郎は、途中なだらかなピークで横になってしまう。「はあ～ちょっとだけ休憩…zzz」

目覚めたとき、味方の城からはもうもうと黒煙が上がっていた…。「ああ…」。



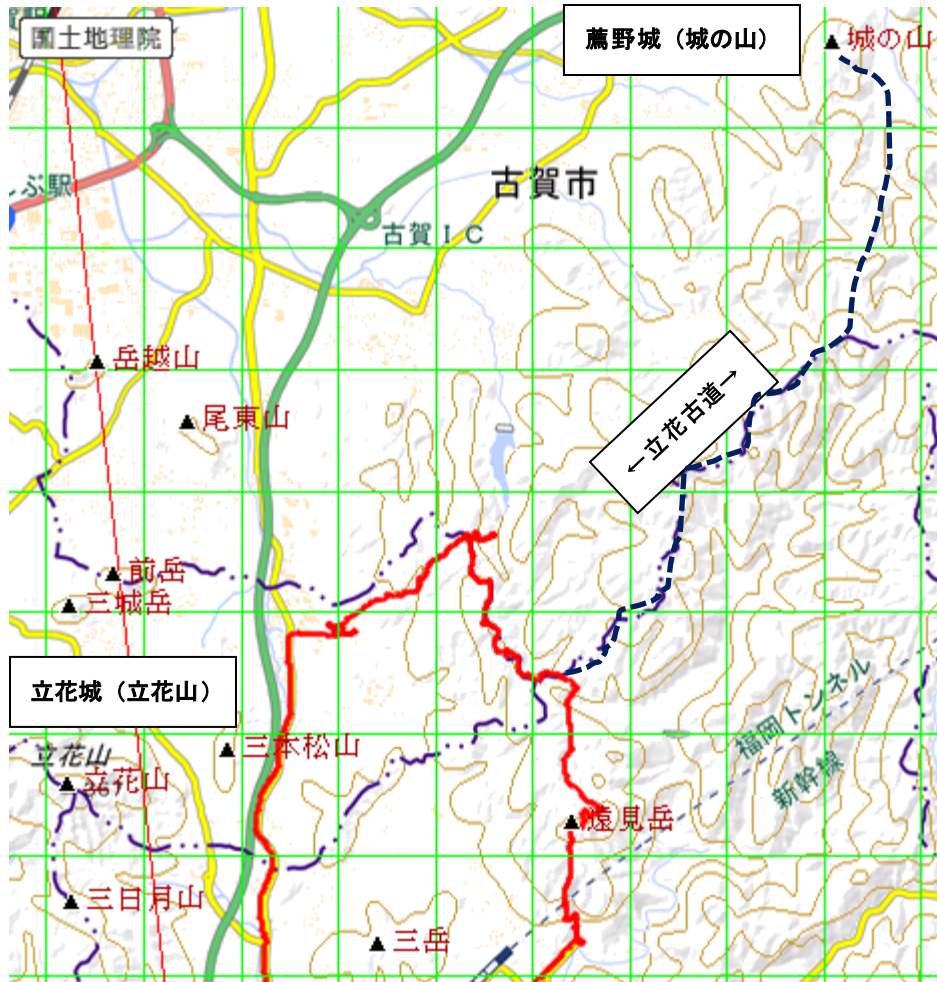
・・・というストーリーがありそうな寝太郎山。立花山からこの寝太郎山を経て、薦野の城の山へ続く山並みには、「立花古道」と呼ばれる戦国時代の道があったそうな。低山ながら歩き応えのありそうなこのルートの試登に行ってみた。

ラントレコース探索で何度か足を踏み入れている伊野皇大神宮から遠見岳を経て、古賀ダムへ抜ける鞍部へ向かう。ここは立花古道を東西に分けるポイントで、今回はここから立花山方面へ歩く。新宮町と古賀市の境界伝いにうねる尾根筋には赤テープがあり、踏み跡もあるが、ピークの巻き道があったり誘い込まれそうな支尾根があったりで適度に気を抜けない。古道らしき痕跡(?)は分からないが、サクサクの落ち葉が足に優しい。頭上右手にちらりと電線が見えだすとまもなく鉄塔の立つ寝太郎山。木々の向こうにわずかに立花山が見える。ここで寝太郎が…(妄想タイム休憩)。

尾根が細くなってくると的野越に着く。登山を楽しむルートとしてはここから古賀ダムへ下りたところが起点となるが、立花山方面へ向かうため、的野集落からの林道終点を目指して斜面を下る。地図通りほどなく古い林道に到達し、ここからはゆっくりランモード。新しくなった県道35号線を横目に旧道を進み、ところどころの神社で一息入れつつスタート地点に戻った。



史実によれば、陥落の危機に陥っていた立花城は、現れた援軍により間一髪で敵を退けた。難を逃れた城主立花宗茂は、その戦いぶりから「西国無双」と呼ばれ、戦国を戦い抜き、明治に続く筑後柳川藩の初代藩主となった◆



【遠見岳から見る立花山】